

第22回東京障害者技能競技大会

ネイル施術競技 課題

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部
東 京 都

1 競技内容

『ベーシックマニキュア』

爪の長さ、形、表面など爪全体を整え、キューティクルのお手入れをし、カラーを塗ることで美しく健康な爪をつくります。

健康で美しい爪と指を保つためのマニキュアサービスの基本となるネイルケアの技術を競います。

作品は、課題1～2の2種類とする。

※ネイル施術者として、衛生的な身だしなみであること

※衛生的な施術及び工程に適切な材料と使用方法及び工程手順正しく行う。

また、用途に合った施術手順と材料の取り扱い及び使用方法が正確に行われ、仕上がりの美しさの完成度を競う。

課題1：『ネイルケア』

片手（右手）のネイルケアを行う

※片手（左手）は事前にネイルケアを終了しケア済みの状態にしておく事

課題2：『カラーリング：ポリッシュとジェル』

片手（右手5本）カラーリング：ポリッシュ（カラー：マット赤）

片手（左手5本）カラーリング：ジェル（カラー：白パール）

2 競技時間

競技課題1：20分

ネイルケア（右手のみ）：20分

（手指消毒～キューティクルケアを行う。ウォーターケア、爪の表面を整える）

※ネイルオイル、シャイナーの使用不可

競技課題2：45分

カラーリング

片手（右手5本）カラーリング：ポリッシュ（カラー：マット赤）

片手（左手5本）カラーリング：ジェル（カラー：白パール）

3 提出方法

課題 1、2：参加者からの申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、モデルへの施術をもって提出とする。

4 注意事項

- (1) 使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し、指示に従うこと。
- (2) 作品が完成したら競技終了まで静かに待機してください。
- (3) 会場での座席位置は、予めスタッフが決定します。
- (4) メモ、デッサン画、参考書、その他の資料等の持込みは一切不可とします。
- (5) モデルおよび、周りの人にカンニング及びアドバイス行為があった場合は、失格及び減点とする。

(注 1) 補助具等（書見台等）の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として、参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち会いのもとで導入します。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行いません。

(注 2) 飲料等は適宜持参しても可。（但し机上に置かないこと）

(注 3) 第 1 課題が時間内に終了していない場合は、第 2 課題の時間内で実施し第 1 課題を終了次第、第 2 課題を行う。但し減点とする

(注 4) 第 2 の課題が終了しない場合は、減点とする

5 競技会場に準備してあるもの

No.	機材名称	仕様	備考
1	作業台	W1800×D450×H700（内高 640）程度	
2	選手用電気スタンド	クランプ式蛍光灯：100V 40W	
3	長机用テーブルクロス	白色、ビニール製	
4	椅子	背もたれ付	
5	ゴミ袋（小）	選手の競技中に出るゴミを入れるゴミ袋（A4 サイズ目安）各テーブルに設置	
6	セロテープ		

各自準備物（持参）

No.	機材名称	仕様	備考
1	エタノール	消毒用エタノール	
2	消毒用容器	形状は問わない	
3	コットン	ネイルコットン	
4	コットン容器	形状は問わない	必要に応じ準備
5	ウェットステリライザー	形状は問わない	
6	ポリッシュリムーバー	ポリッシュリムーバー	
7	ポリッシュリムーバー用容器	形状は問わない	必要に応じ準備
8	キューティクルリムーバー	液体、クリーム、ジェルタイプは問わない	
9	ベースコート	メーカーは問わない	容器に「ベースコート」と表記すること
10	トップコート	メーカーは問わない	容器に「トップコート」と表記すること
11	ポリッシュカラー（赤）	メーカーは問わない	容器に「カラー（赤）」と表記すること
12	プッシャー	ネイルプッシャー	ウェットステリライザーにセッティング
13	ニッパー	キューティクルニッパー	ウェットステリライザーにセッティング
14	ファイル及びバッファー類	メーカーは問わない 各自技術にあったグリットを準備	
15	ウッドスティック	メーカーは問わない	ウェットステリライザーにセッティング
16	ハンドタオル	必要に応じて準備（ケア時使用可）	
17	ガーゼ	形状は問わない（ケア時使用可）	
18	ダストブラシ	形状は問わない	
19	トレイ	形状は問わない	

2 0	ブラシ立て	形状は問わない	
2 1	フィンガーボール	形状は問わない	
2 2	ペーパータオル	形状は問わない	
2 3	アームレスト	形状は問わない	
2 4	作業エリア用タオル	白無地タオル	
2 5	水入れ（ケア用）	必要に応じて準備	
2 6	タイマー	必要に応じて準備	
2 7	水筒（お湯及び水）	形状は問わない（ケア用）	
2 8	ジェルネイルランプ	ジェルを硬化するために光を照射するランプ（UV/LED タイプがある）	
2 9	ジェルクレンザー（クリーナー）	未硬化ジェル除去剤	
3 0	ワイプ類（ジェル用コットン）	未硬化ジェルを除去するワイプ	
3 1	爪用消毒剤	爪の消毒剤 （ジェル塗布前に爪に使用）	
3 2	ベースジェル	メーカー、容器形状などは問わない	容器に「ベースジェル」と表記すること
3 3	トップジェル（ノンワイプトップ可）	メーカー、容器形状などは問わない	容器に「トップジェル」と表記すること
3 4	カラージェル（白パール）	メーカー、容器形状などは問わない	容器に「カラージェル」と表記すること
3 5	ジェル用 筆	形状や持ち込み本数は問わない 必要に応じて準備	
3 6	スパチュラ	容器形状などは問わない カラージェル攪拌用	ウェットステライザーにセッティング
3 7	延長コード	・ランプのコードが短い場合に必要 ・ <u>ライトの AC アダプターが大きい場合、他の選手の AC アダプターとぶつかって使用できない場合があります。</u>	

※上記に記載のないもので、施術に必要と思われる物があればご準備下さい。

ただし、持参した道具については、モデルチェックの際に確認します。主催者は競技者に対し、著しく有利になるとと思われる道具の使用を認めない場合があります。

※上記の材料は全て必ず準備する事（但し「必要に応じて準備する」と記載のものは除く）

※ジェルネイルシステム環境及び安全な施術を行う事を考え、ベースジェル・トップジェル・カラージェル・ネイルランプなど同一ブランドに統一し使用することが望ましい。

※1：作業テーブルの高さが変更できませんので、選手ご自身で椅子の高さを調整するクッションなどで調整して下さい。

※2：ジェルネイルランプで延長コードが必要と思われる方は各自でご用意下さい。

※モデルは選手各自が準備します。当日一緒にいらして下さい。

- ・片手（右手）ケアを1週間していない状態（**ネイルケア及びファイリングをしていない状態**）
- ・片手（左手）ケア済み（事前にネイルケア及びファイリングを終了していること）

- ・ナチュラルネイルで行うこと。

（亀裂がある場合、ネイルグルーでの補修のみ可。事前に亀裂の補修を済ませておくこと）

- ・何も塗布していない状態から始める。
- ・爪の長さは、手の平側から見て1mm以上5mm程度までとする。
- ・形を整えられる長さがあること

6. テーブルセッティングに関して

- ・競技開始前までには、全て準備が終了していること

※作業中に使用器具、材料をカバンから出す場合は減点

※ジェルのランプの電源を競技前に確認

- ・使用する器具、材料は全てトレーを準備し、その中にセッティングし作業中も衛生的に管理する事（ジェルのランプは、例外とする）

- ・ウェットステリライザーを必ずセッティングすること

（ニッパー、プッシャー、ウッドスティック、スパチュラを器具用消毒液に浸した状態でセッティング）

- ・テーブルセッティングの時間は、競技時間の30分前から行えます。

（その際に、左手のケアを行う事も可。但し競技スタート時には机上が衛生的な状態である事）

課題 1 ネイルケア

●競技時間

競技課題 1 : 20 分 ネイルケア (片手のみ)

片手 (右手) ネイルケア

片手 (左手) ケア済み (事前にネイルケアを終了していること)

●競技内容

【競技手順】

- ① 手指消毒
- ② ファイリング (形は 10 本同じとしバランスを整える。エッジのカットスタイルは自由)
長さは 1 mm ~ 5 mm 以下にすること
- ③ キューティクルの処理をする
キューティクルを起し、モデルの手の状態にあった適切なケアをする
ウォーターマニキュアを行う (ドライケアは禁止)
メタルプッシャー及びウッドスティックを使用すること。
爪の表面はバッファーを使用し整える。
ネイルオイルの使用は不可
- ④ 両手のバランスを整える (競技時間内であれば左手を整えても可)
- ⑤ 使用した器具/材料を全て片付け、ペーパータオルを交換する。
※ナチュラルネイルを基本とする (リペアはグルーのみ可)
※片手 (右手) 5 本すべての指にガーゼクリーンとニッパー、バッファーの使用すること
※ダストは、ダストブラシを使用 (刷毛可)
※競技中ケア用のお湯がぬるくなった場合途中調整をすることは可

●チェックポイント

- ・ 10 指のケアの仕上がりをジャッジする
- ・ 衛生的に施術を行っていること。
- ・ 器具、材料を正しく使用していること。
- ・ フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと (フリーエッジ裏も含む) 。
- ・ ルーススキンが除去されていること。
- ・ ささくれや甘皮の処理がきれいに施されていること
- ・ 10 指のフリーエッジの長さとし形がバランス良く揃っていること
- ・ 作業手順は問わない
- ・ 作業を全て時間内に終了する事
- ・ 出血、傷などがある場合は減点とする

審査 (10 分)

●注意事項

- ① 競技開始時にモデルの事前審査を行う為、事前審査中にモデルの手や爪に触らないこと
- ② モデルに出血が生じた場合は放置せず、専門委員に申告し、傷を消毒、止血をすること。器具類は消毒して使用すること。手指を消毒してから施術を再開すること。
- ③ 器具、材料を落とした場合は放置せず、拾い、破棄する。破棄できないものは消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。
- ④ 時間内にすべての作業が終了されていない場合は減点となる。
- ⑤ 審査中、モデルの爪や手に触れないこと。

課題2 カラーリング：ポリッシュとジェル

●競技時間

競技課題：45分 カラーリング

片手（右手5本）カラーリング：ポリッシュ（マット赤）

片手（左手5本）カラーリング：ジェル（白パール）

- ・ カラーリングで使用する材料は、ポリッシュとジェルカラー
- ・ ネイルポリッシュによるカラーリングと、ジェルネイルによるカラーリングを片手5本ずつ、モデルの両手にカラーを塗布します。
- ・ ポリッシュカラーリングは爪の油分除去、ベースコート、カラーポリッシュ（赤）2度塗り、トップコート、全ての工程でエッジも塗ること
- ・ ジェルカラーリングは、プレパレーション（サンディング不要のジェルでもサンディングから行う事）ベースジェル、カラージェル（白パール）2度塗り、トップジェル、全ての工程でエッジも塗ること
未硬化ジェルのふき取りを全て行う事
（未硬化が出ないジェル製品はふき取りを行わなくても可但し、べたつきがない事）
- ・ 使用する材料と爪の状態に合わせた施術方法で衛生かつ安全に製品と施術を行い、正確で適切かつ繊細な技術力、素材にあった仕上がりで用途を理解し彩りの美しさで競います。

●チェックポイント

- ・ 衛生的に施術を行っていること。
- ・ エッジの塗りが適切であること（裏面は塗布しない）
- ・ 厚みが均一で塗りが残しがないこと。
 - ・ キューティクルラインが空き過ぎず滑らかであること。
 - ・ サイドの塗りが残しがないこと。
 - ・ 表面に色むらや刷毛あと、凹凸がないこと。
 - ・ 皮膚に製品がついていないこと。
- ・ 時間内にトップコートまで塗られていること。（ジェルは表面のべたつきがないこと）
- ・ 左右の仕上がりバランス良くかたちが整えられ仕上がっていること
- ・ 左右の仕上がり、かけはなれていないこと
- ・ 製品を安全でかつ用途に応じ使用している事

以上